

エコアクション21 環境活動レポート



®環境省

エコアクション21

認証番号 0002448

対象期間：平成31年4月～令和2年3月

発行年月：令和2年5月

静岡県川根本町

～ 目 次 ～

I	組織概要	P1
II	対象範囲	P2
III	環境方針	P5
IV	環境目標	P7
V	環境目標の実績	P11
VI	環境活動計画と取組結果、評価及び次年度の取組内容	P16
VII	その他 令和元年度の活動内容紹介	P31
VIII	川根本町が実施する町民向け補助事業	P34
IX	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P36
X	代表者による全体評価と見直しの結果	P38

I 組織概要

1 事業所名及び代表者

静岡県はいばらぐんかわねほんちょう榛原郡川根本町 代表者 町長 すずき としお 鈴木 敏夫

2 所在地

【川根本町役場本庁舎】

〒428-0313 静岡県榛原郡川根本町上長尾 627 番地

【川根本町役場総合支所】

〒428-0411 静岡県榛原郡川根本町千頭 1183 番地の1

3 事業概要

一般行政事務、保育、簡易水道事業などの町民の日常生活に密接に関係する行政サービスの提供。

4 事業規模等

令和元年度一般会計当初予算 56 億5,000万円

職員数（嘱託・臨時職員を含む） 252名

5 環境管理責任者

川根本町副町長 もり きよし 森 紀代志

6 担当課

川根本町くらし環境課環境政策室

電話 0547-56-2236 FAX 0547-56-1117

E-mail kurashi-kankyo@town.kawanehon.lg.jp

ホームページ <http://www.town.kawanehon.shizuoka.jp>

Ⅱ 対象範囲

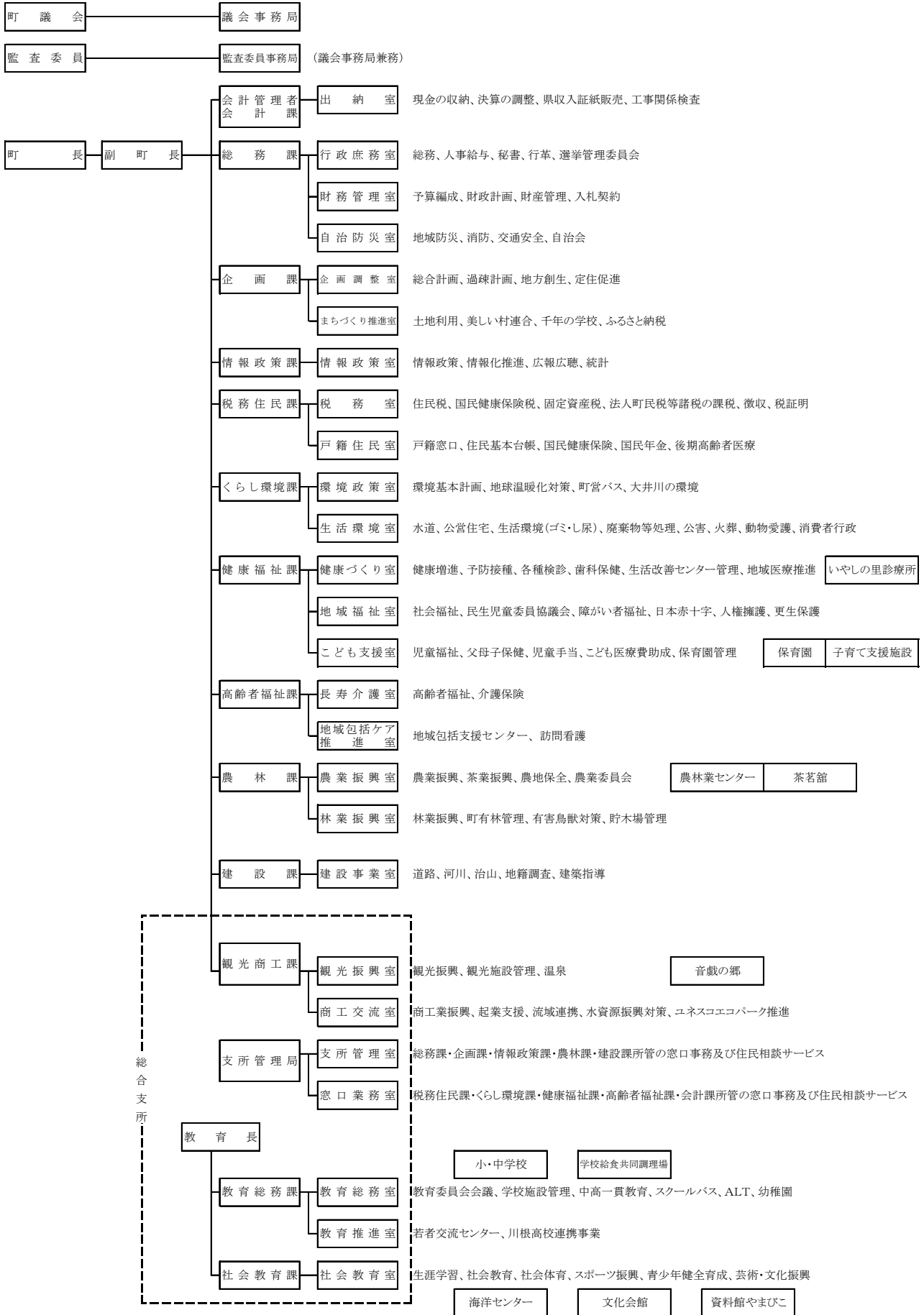
1 対象施設

施設名	備考（詳細等）
役場本庁舎	
役場総合支所	
町立保育園等	桜保育園・三ツ星保育園・地名保育園・子育て支援施設
農林業センター	
フォーシなかわね茶茗館	
奥大井音戯の郷	
町立小中学校（6校）	本川根中・中川根中・本川根小・中川根第一小・中央小・中川根南部小
学校給食共同調理場	
本川根B&G海洋センター	
文化会館	
総合施設	山村開発センター 他
消防署	島田消防署川根北出張所
医療施設	いやしの里診療所
温泉施設	接岨峡温泉会館 他
宿泊施設	ウッドハウスおろくぼ 他
観光施設	自然休養村管理センター 他
キャンプ場	池の谷ファミリーキャンプ場 他
水道施設	水道施設（直轄管理）
スポーツ施設	町営グラウンド 他
福祉施設	川根本町福祉センター 他
その他施設	資料館やまびこ 他
街路灯	

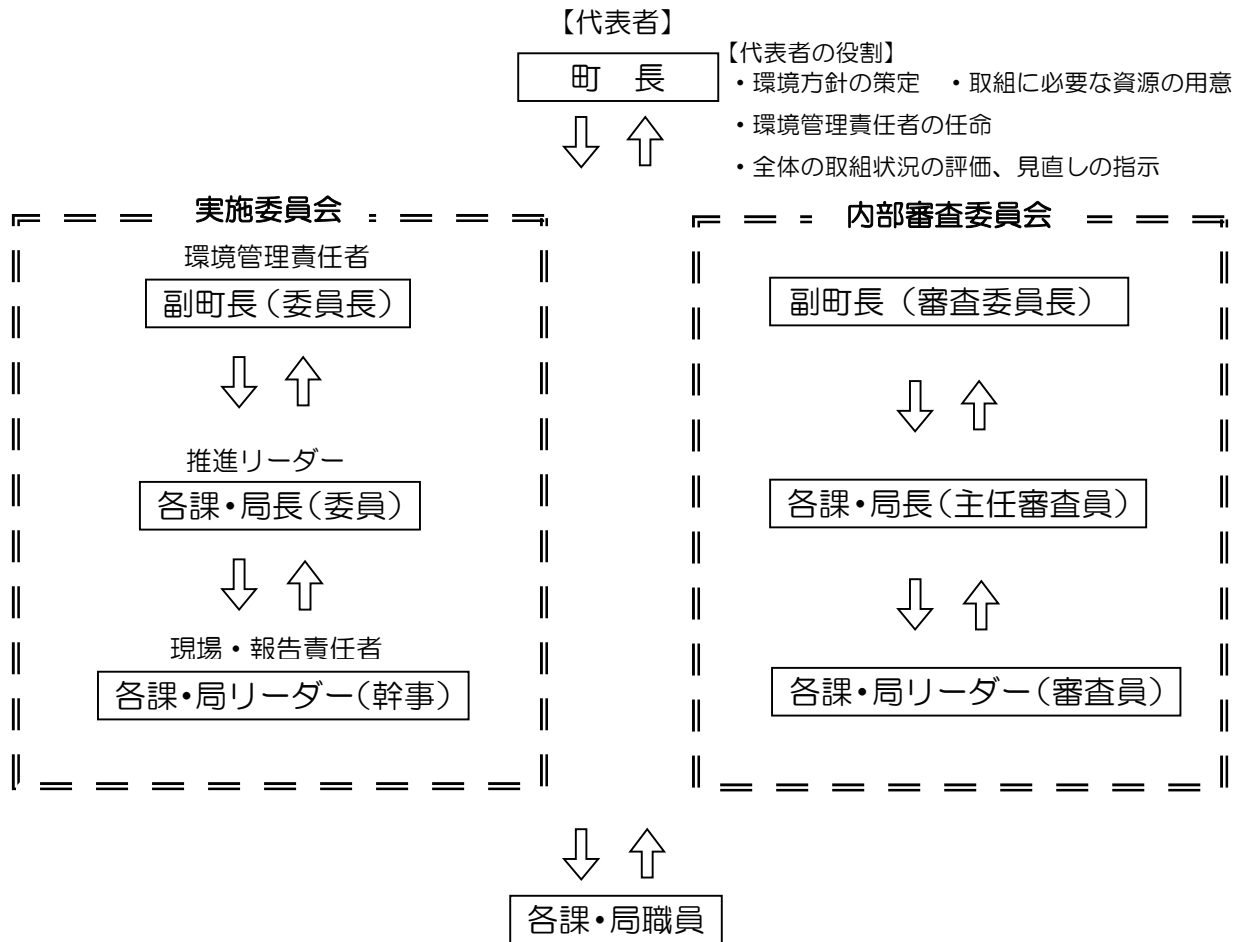
※一部施設（指定管理者施設等）は独自での推進とし、温室効果ガス排出量等の把握・報告のみ対象としています

2 対象組織

令和元年度 行政組織図 (平成31年4月1日施行)



3 実施体制



4 実施体制における役割

【実施委員会】

- 委員長（副町長）
 - ・実施委員会の統括
- 委員（各課・局長）
 - ・各課・局におけるエコアクション推進活動の統括
- 幹事（各課・局リーダー）
 - ・各課・局におけるエコアクション推進活動のリーダー的業務
 - ・各課・局における温室効果ガス等排出状況の報告及び検証

【内部審査委員会】

- 委員長（副町長）
 - ・内部環境審査の計画及び実施の指示と統括
 - ・町長への内部環境審査の結果報告とシステム改善のための助言
 - ・エコアクションガイドライン不適合事項への再発防止策について要求
- 主任審査員（各課・局長）
 - ・実施計画に基づく内部審査の実施
 - ・審査報告書及び審査統括報告書の作成
 - ・被審査部門に対するシステム改善のための提案
- 審査員（各課・局リーダー）
 - ・主任審査員の補助

Ⅲ 環境方針

【基本理念】

近年、地球温暖化をはじめとして、経済活動が地球の環境に与える影響の大きさが広く認識されるようになりました。自然界における環境は大気・水・土壌・生物等の間を物質が循環し、生態系が微妙な均衡を保つことによって成り立っています。私たちを取り巻く昨今の環境問題は、健全な物質の循環が阻害され、資源やエネルギーを大量に使用する現代社会のあり方そのものに根ざしています。このため、現在の社会経済の構造、私たちの生活のあり方と価値観を環境の視点からも変革していくことが求められています。

一方、私たちの地域は、古来、豊かな自然の恵みを享受しており、自然を持続的に利用する知恵と技、自然を慈しむ文化を育んできました。自然環境に必要以上に負荷を与えない自然共生型の生活様式をつくりあげ、再生産可能な資材を有効に活用する 21 世紀の社会の仕組みを構築していく上で、農山村の暮らしはモデルとなりうると思います。今後もこの自然を守り育むとともに、環境負荷の少ない方法でその活用を図り、本来の暮らし方、物づくりや連携・交流のあり方を提案・実践していくことが「川根本町」の使命と考えています。

こうした基本的な認識の下で、環境への負荷を抑える取り組みを効果的に行う実践的取り組みとして、川根本町役場が、「エコアクション21」を導入します。職員が自分の仕事を通じて、環境との係りに気付き、環境への負荷を減らすため、目標を設定し、計画的に取り組む、結果を評価し、見直し実行する、継続的な取り組みを実践します。この取り組みを通じて、環境への取組の推進だけでなく、経費の節減など行財政改革の推進、目標管理の徹底、法令順守など役場管理の品質や信頼性の向上を目指します。

川根本町の町の将来像、「水と森の番人が創る癒しの里 川根本町」～豊かな自然、お茶と温泉に彩られた、だれもが安心して暮らせるふるさと～実現には、これからも自然環境と生産・生活環境を調和させることが欠かせません。それには、エコアクション21の取り組みが、その「手引き」となり、私たち地域がこれまで培った知恵や知識、様々な地域資源に対する知見を活かすことが求められます。役場組織だけでなく、自治会などの地縁型コミュニティーに加えNPO、事業所、地域内外個人・団体など、様々な組織が目的を相互に共有して穏やかな連携をしながら活動を継続することが必要と考えます。

【行動指針】

- ①役場の職員は、「水と森の番人」という川根本町の使命を自覚し環境負荷の低減に配慮した業務を執行します。町全体の意識の向上を図るため、広く町民にも啓発・広報・事業活動を推進します。
- ②リサイクルやグリーン調達を積極的に行い、公共工事やイベントなどの事業における環境負荷排出抑制に努めます。
- ③業務における省資源・省エネルギーを実践し、電気・石油・水・紙の使用量を減ずることに努めます。
- ④環境関連の法令及びその他の要求事項を遵守し、一層の環境保全に取り組みます。
- ⑤川根本町環境基本計画を制定して、環境にやさしい社会を実現するための施策を推進します。
- ⑥環境目標、環境活動計画を定め、かつそれを定期的に見直すことにより継続的な環境改善に努めます。
- ⑦この環境方針は、全職員に周知させ、町民にも公開します。

平成19年7月27日 制定

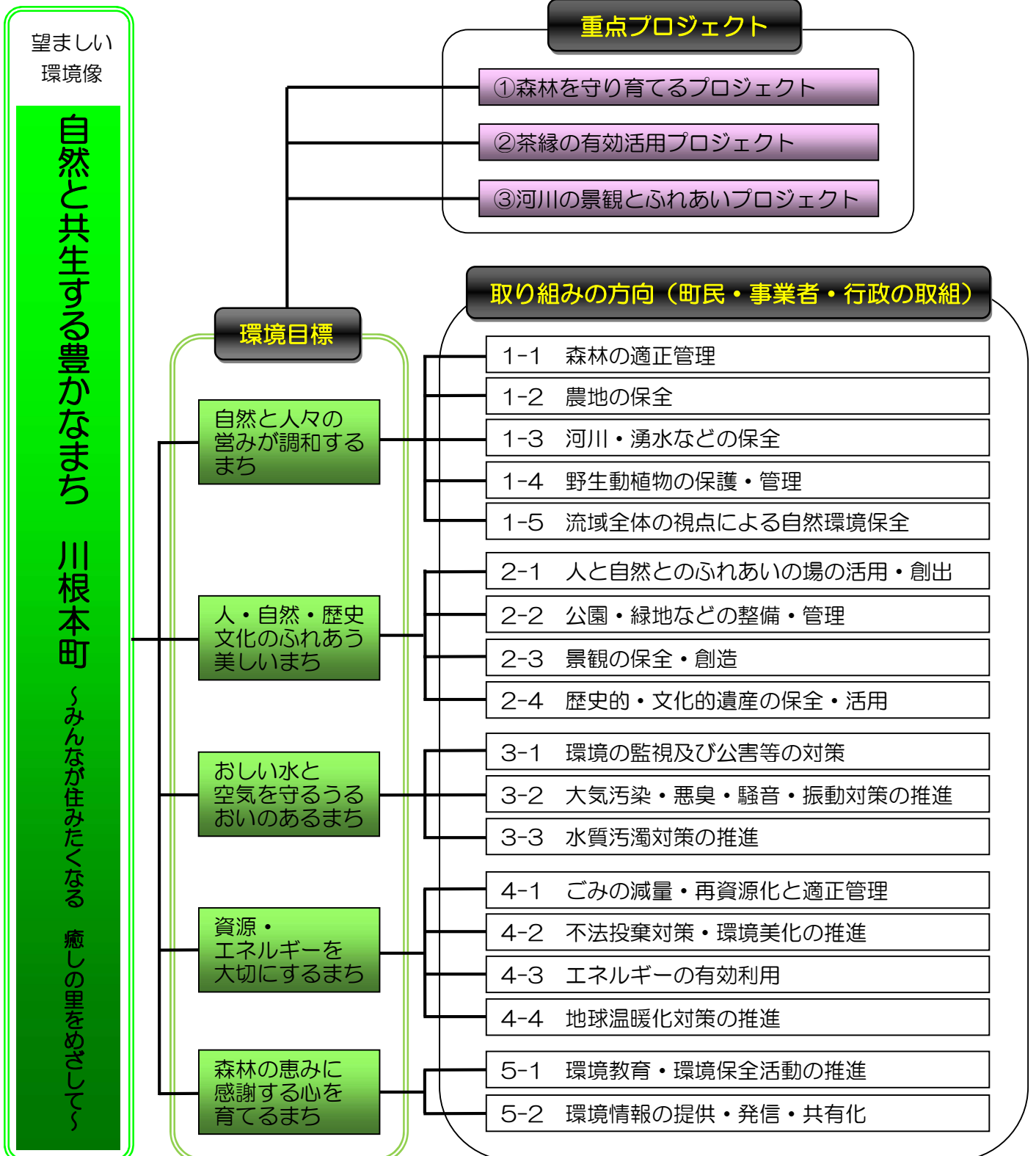
平成20年3月10日 改定

川根本町長 鈴木 敏夫

Ⅳ 環境目標

1 川根本町環境基本計画に定める環境目標

川根本町環境基本計画は、町の美しい景観や清らかな大井川、特産物である川根茶の香る茶畑や豊かな森林を守るため、地域をはじめ町全体、さらには地球規模で抱える問題へ対処するため、町民・事業者・行政の三者が連携・協力して環境保全に向けた取り組みを
実行するための、総合的かつ長期的な施策の大綱です。



2 エコアクション21で取り組むべき項目の目標

町の事務及び事業に伴う環境負荷について把握し、行政として自ら環境負荷を低減させるため、川根本町地球温暖化対策実行計画を策定（H29.1）しています。

(1) 川根本町地球温暖化対策実行計画に基づく令和2年度の目標〔中長期目標〕

○温室効果ガス総排出量の削減目標

(kg-CO2)

(基準値) H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	(目標年度) R2年度	削減率 (%)	削減量
1,877,256	1,839,711	1,802,166	1,745,848	1,689,530	10	187,726
	2%削減	4%削減	7%削減	10%削減		

○ゴミ排出量の削減目標

(kg)

(基準値) H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	(目標年度) R2年度	削減率 (%)	削減量
10,338	10,266	10,193	10,121	10,049	2.8	289
	0.7%削減	1.4%削減	2.1%削減	2.8%削減		

○紙使用量の削減目標

(枚)

(基準値) H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	(目標年度) R2年度	削減率 (%)	削減量
1,651,350	1,601,810	1,535,756	1,469,702	1,403,648	15	247,702
	3%削減	7%削減	11%削減	15%削減		

○総排水量の削減目標

(m)

(基準値) H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	(目標年度) R2年度	削減率 (%)	削減量
37,810	37,659	37,508	37,356	37,205	1.6	605
	0.4%削減	0.8%削減	1.2%削減	1.6%削減		

○グリーン購入率目標

(%)

(基準値) H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	(目標年度) R2年度	購入率 (%)	向上率
72	79	86	93	100	100	28
	7%向上	14%向上	21%向上	28%向上		

(2) 令和元年度全体目標〔短期目標〕

- ◇ CO2 排出量を平成27年度対比4%削減する。その他の項目も令和2年度の目標達成に向け、段階的な削減又は向上に取り組む。
- ◇ 電力使用量については、7～9月を重点強化期間として節電に取り組む。

(3) 各課（局・施設）の取組目標

課（局・施設）名	取組目標
総務課	・紙使用量を平成 27 年度基準値に対し、11%削減する
企画課	・行政資料（業務説明資料）の作成、更新による事務の合理化と可視化を図り、業務の質を向上させる
情報政策課	・平成 30 年度に作成した業務説明資料の改善及び業務マニュアルの作成により業務の効率化を図る
農林課	・野生鳥獣による農林作物等への被害軽減を図る
農林業センター	・町民の手本となる圃場管理
茶茗館	・茶茗館環境エコの実践、啓発
建設課	・リサイクル製品の活用
高齢者福祉課	・施設の燃料及び電気使用量の削減
健康福祉課	・業務説明資料（行政資料）の作成・更新を行い、事務の合理化と効率化を図る
桜保育園	・食育活動の充実 ・環境教育の推進
三ツ星保育園	・食育活動の充実と環境教育の推進に取り組む
くらし環境課	・業務マニュアルの作成・更新を行い、事務の効率化を図る
税務住民課	・資源の再利用及び PC 等の電源 OFF の徹底
会計課	・電力使用の削減 ・CO2 排出量の削減
議会事務局	・ICT活用等の取り組みを行う中、年々高まりつつある議員の資源節約の意識を、さらに継続する
支所管理局	・エコアクションへの取り組みの啓発
観光商工課	・年間エネルギー使用量の削減（前年度比 2%減）

課（局・施設）名	取 組 目 標
奥大井音戯の郷	<ul style="list-style-type: none"> • 音戯の郷施設環境エコ活動
教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> • 川根留学生及び川根高校に入学を希望している保護者と生徒に対し、高校の魅力と併せ本町の豊かな地域資源をPRする
学校給食共同調理場	<ul style="list-style-type: none"> • 学校給食の残食量の減量
社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> • 環境教育の啓発
文化会館	<ul style="list-style-type: none"> • 施設利用者数を維持し、電気使用量を前年度より減らす • 町民の環境意識の向上
B & G海洋センター	<ul style="list-style-type: none"> • エネルギーの有効活用による施設利用者への快適な利用環境の提供

V 環境目標の実績

1 短期目標

令和元年度の取組結果は以下のとおりです。

○温室効果ガス総排出量

基準年 (H27) 《実績値》	目標年 (R1) 《目標値》	R1 目標 削減率	R1 実績 《実績値》	増減率	
1,877,256 kg-CO2	1,745,848 kg-CO2	△7%	1,804,509 kg-CO2	基準年	△3.9%
				目標年	3.4%

○ゴミ排出量

基準年 (H27) 《実績値》	目標年 (R1) 《目標値》	R1 目標 削減率	R1 実績 《実績値》	増減率	
10,338kg	10,121kg	△2.1%	9,623.7kg	基準年	△6.9%
				目標年	△4.9%

○紙使用量

基準年 (H27) 《実績値》	目標年 (R1) 《目標値》	目標 削減率	R1 実績 《実績値》	増減率	
1,651,350 枚	1,469,702 枚	△11%	1,697,657 枚	基準年	2.8%
				目標年	15.5%

○総排水量

基準年 (H27) 《実績値》	目標年 (R1) 《目標値》	目標 削減率	R1 実績 《実績値》	増減率	
37,810 m ³	37,356 m ³	△1.2%	38,058 m ³	基準年	0.7%
				目標年	1.9%

○グリーン購入率

基準年 (H27) 《実績値》	目標年 (R1) 《目標値》	目標 向上率	R1 実績 《実績値》	向上率	
72%	93%	21%	73.3%	基準年	1.3%
				目標年	△19.7%

○温室効果ガス排出量の内訳

令和元年度 エコアクション21取組実績【第4四半期】

【排出係数】
 ・電気:0.497
 (H27年度中部電力排出係数)
 ・灯油:2.492 ・A重油:2.71
 ・LPG:3.002 ・ガソリン:2.322
 ・軽油:2.586

実績(対基準年)	3.9%減少
実績(対目標年)	3.4%増加

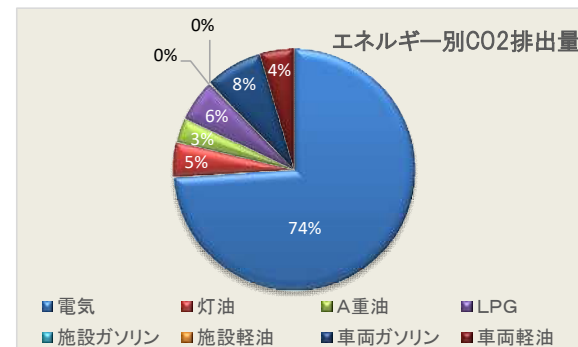
1. CO2排出量

目標	平成27年度対比7%削減
----	--------------

(1)エネルギー別

単位: kg-CO2

	電気	灯油	A重油	LPG	施設ガソリン	施設軽油	車両ガソリン	車両軽油	合計
R1	1,335,507 74.0%	84,246 4.7%	58,265 3.2%	101,077 5.6%	1,213 0.1%	4,407 0.2%	137,892 7.6%	81,902 4.5%	1,804,509 100.0%
H27 (基準年度)	1,340,923 71.4%	115,165 6.1%	58,536 3.1%	97,378 5.2%	709 0.0%	3,612 0.2%	175,343 9.3%	85,591 4.6%	1,877,256 100.0%
増減 (H27-R1)	-5,417 -0.4%	-30,919 -26.8%	-271 -0.5%	3,700 3.8%	504 71.0%	795 22.0%	-37,450 -21.4%	-3,688 -4.3%	-72,748 -3.9%



(2)各課・局別

単位: kg-CO2

	総務課	企画課	情報政策課	農林課	建設課	高齢者福祉課	健康福祉課	税務住民課	支所管理局	観光商工課	教育総務課	社会教育課	くらし環境課	合計
R1	158,882 8.8%	1,438 0.1%	59,878 3.3%	68,823 3.8%	17,675 1.0%	151,347 8.4%	177,749 9.9%	1,197 0.1%	163,107 9.0%	308,967 17.1%	338,247 18.7%	132,122 7.3%	225,077 12.5%	1,804,509 100%
H27 (基準年度)	169,347 9.0%	4,533 0.2%	29,043 1.5%	74,970 4.0%	24,117 1.3%	177,274 9.4%	176,497 9.4%	1,401 0.1%	174,269 9.3%	314,446 16.8%	325,392 17.3%	143,909 7.7%	262,059 14.0%	1,877,256 100%
増減 (H27-R1)	-10,465 -6.2%	-3,095 -68.3%	30,835 106.2%	-6,148 -8.2%	-6,442 -26.7%	-25,927 -14.6%	1,252 0.7%	-204 -14.6%	-11,162 -6.4%	-5,479 -1.7%	12,856 4.0%	-11,787 -8.2%	-36,982 -14.1%	-72,748 -3.9%

各課ごとのCO2排出量の増減内訳

電気	-2,128	0	30,835	-1,972	-4,143	-1,550	521	0	2,824	-341	982	-8,581	-21,864	-5,417
灯油	269	0	0	757	0	-20	-720	0	-8,637	0	-3,731	-7,426	-11,411	-30,919
A重油	0	0	0	-5,691	0	0	5,420	0	0	0	0	0	0	-271
LPG	-6,412	0	0	-410	0	958	-1,875	0	-245	-4,935	17,009	-111	-280	3,700
施設ガソリン	0	0	0	-186	0	0	0	0	0	0	-196	885	0	504
施設軽油	0	0	0	795	0	0	0	0	0	0	0	0	0	795
車両ガソリン	-2,597	-3,095	0	-83	-2,299	-21,559	-3,604	-204	-3,067	-203	-1,285	2,879	-2,332	-37,450
車両軽油	404	0	0	642	0	-3,757	1,511	0	-2,038	0	76	568	-1,094	-3,688
計	-10,465	-3,095	30,835	-6,148	-6,442	-25,927	1,252	-204	-11,162	-5,479	12,856	-11,787	-36,982	-72,748

※島田消防署川根北出張所(総務課)、自然村休養村管理センター(支所管理局)、温泉施設・宿泊施設・キャンプ場(観光商工課)は電気使用量のみ対象

○電力使用量

目 標 7月から9月を重点強化期間として節電に取り組む

(1)重点強化期間(7月～9月)

単位:kwh

	総務課	情報政策課	農林課	建設課	高齢者福祉課	健康福祉課	支所管理局	観光商工課	教育総務課	社会教育課	くらし環境課	合計
R 1	75,185	32,918	28,415	6,594	17,016	51,960	32,663	148,927	162,876	68,702	84,586	709,842
H 2 7	79,760	6,396	28,637	8,663	17,154	48,337	28,800	147,984	155,214	74,165	98,526	693,636
増減 (H27-R1)	-4,575 -5.7%	26,522 414.7%	-222 -0.8%	-2,069 -23.9%	-138 -0.8%	3,623 7.5%	3,863 13.4%	943 0.6%	7,662 4.9%	-5,463 -7.4%	-13,940 -14.1%	16,206 2.3%

(2)年 間

単位:kwh

	総務課	情報政策課	農林課	建設課	高齢者福祉課	健康福祉課	支所管理局	観光商工課	教育総務課	社会教育課	くらし環境課	合計
R 1	283,529	120,479	108,111	28,082	83,152	191,706	134,278	548,817	609,328	228,345	351,309	2,687,136
H 2 7	287,811	58,437	112,078	36,418	86,270	190,657	128,595	549,504	607,353	245,611	395,301	2,698,035
増減 (H27-R1)	-4,282 -1.5%	62,042 106.2%	-3,967 -3.5%	-8,336 -22.9%	-3,118 -3.6%	1,049 0.6%	5,683 4.4%	-687 -0.1%	1,975 0.3%	-17,266 -7.0%	-43,992 -11.1%	-10,899 -0.4%

CO2 排出量の削減については、27 年度対比 7%削減を目標とし、これに与える影響が大きい電力使用量の削減にも注意して 1 年間取り組んだ。

その結果、27 年度対比 3.9%の削減と目標を達成することはできなかったが、前年度の増加から今年度の削減を含めて捉えれば、取り組みの成果はあったと評価している。エコアクションの活動についても職員の中に浸透してきており、更なる取組の強化を図っていきたいと考える。

電力使用量については、重点強化期間については 2.3%の増加、年間については 0.4%削減という結果であり、これは 3 月からの新型コロナウイルス感染拡大防止策として、施設の休館等があったことも要因の一つであると考ええる。情報政策課は、27 年度途中に開始した高度情報基盤事業により、引き続き大幅な増加となった。また、教育総務課は 28 年度から若者交流センター奥流の運営を開始したことにより前年度は増加となっていたが、今年度は増加の幅を縮小してきており、取り組みの成果が出ている。高度情報基盤事業及び奥流の使用量を差し引いた場合は、年間 6.0%の削減が出来ており、節電に対する職員の意識は定着してきている。

今後は、30 年度から開始したカーボン・マネジメント強化事業により、照明の LED 化など省エネ機器の導入を進めることで、電力使用量や CO2 排出量の削減が期待できる。

○ゴミ排出量の内訳

2. ゴミ排出量		目標	平成27年度対比2.1%削減					実績(対基準年)	6.9%削減					単位:kg
								実績(目標年)	4.9%削減					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
R1	939.8	691.9	691.9	884.3	717.8	680.8	732.6	899.1	954.6	710.4	810.3	910.2	9,623.7	
H27	1,036.0	758.5	888.0	895.4	780.7	777.0	821.4	865.8	895.4	725.2	847.3	1,047.1	10,337.8	
増減	-96.2	-66.6	-196.1	-11.1	-62.9	-96.2	-88.8	33.3	59.2	-14.8	-37.0	-136.9	-714.1	
	-9.3%	-8.8%	-22.1%	-1.2%	-8.1%	-12.4%	-10.8%	3.8%	6.6%	-2.0%	-4.4%	-13.1%	-6.9%	

ゴミ排出量については、27年度対比2.1%の削減目標に対し、6.9%の削減を達成、目標年4.9%削減ができています。廃棄文書の適正処理に関する意識付けは定着し、紙文書の再資源化は推進できています。もっとも取り組みやすく、結果の出やすい取り組みでもあるので、このモチベーションを全体に波及させたい。

○紙使用量の内訳

3. 紙使用量		目標	平成27年度対比11%削減					実績(対基準年)	2.8%増加					単位:枚
								実績(目標年)	15.5%増加					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
R1	202,850	114,400	176,850	144,350	103,900	162,100	120,400	123,500	155,350	77,450	150,504	166,003	1,697,657	
H27	132,000	141,500	165,000	111,000	126,350	154,500	121,000	104,000	138,500	144,500	132,000	181,000	1,651,350	
増減	70,850	-27,100	11,850	33,350	-22,450	7,600	-600	19,500	16,850	-67,050	18,504	-14,997	46,307	
	53.7%	-19.2%	7.2%	30.0%	-17.8%	4.9%	-0.5%	18.8%	12.2%	-46.4%	14.0%	-8.3%	2.8%	

紙使用量については、27年度対比11%の削減目標に対し、2.8%の増加に転じてしまった。目標年実績は15.5%増と大幅に伸びている。業務の多様化による資料の増加等が主な原因ではないかと推測しているが、今後はグループウェアの活用等でペーパーレス化を目指すことと、両面印刷の徹底、資料の共有・簡素化など、必要最小限の紙使用量を踏まえて総量削減に繋がる対応の周知により一層取り組んでいきたい。

○水使用量の内訳

4. 水使用量		目標		実績(対基準年)		単位: m ³
		平成27年度対比1.2%削減		0.7%増加		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計	
R1	5,309	15,410	6,143	11,196	38,058	
H27	7,022	15,242	5,668	9,878	37,810	
増減	-1,713	168	475	1,318	248	
	-24.4%	1.1%	8.4%	13.3%	0.7%	

※島田消防署川根北出張所(総務課)、自然休養村管理センター(支所管理局)、温泉施設・宿泊施設・キャンプ場(観光商工課)、お試し住宅(企画課)、川根高校男子寮よすが苑(教育総務課)、伝統文化伝承館(社会教育課)、クリーンビュー川根本町(くらし環境課)の使用量は除いた数値

水使用量については、27年度対比1.2%の削減目標に対し、0.7%増加、目標年実績1.9%増加と増加に転じてしまった。第4四半期に使用量が増加しているのは、健康福祉課、高齢者福祉課で所管する福祉施設の利用者増、支所管理局で所管する観光施設奥大井休養村管理センターの観光客数の増によるものである。節水に対する職員の意識は定着されているものの、施設利用者などへの周知が図られていないようなので、今後は施設利用者を含めた節水の呼びかけを行うなど、今一度節水を心がけることで今後も削減に取り組みたい。

○グリーン購入の内訳

5. グリーン購入		目標		実績(対基準年)	
		平成27年度対比21%向上		1.3%増加	
	物品購入 全体	うち グリーン購入物品	グリーン購入率		
R1	36品	22品	73.3%		
H27	83品	60品	72.0%		

共通の消耗品については、総務課にて一括購入するため、グリーン購入を意識して購入しているが、基準年度対比1.3%増加、目標年実績19.7%減少と目標値には遠く届かない。グリーン購入という概念自体が理解されていないようなので事あるごとに紹介し、意識付けを図りたい。

VI 環境活動計画と取組結果、評価及び次年度の取組内容

1 全庁・全施設

実施項目	評価	R2
◎電気使用量の削減	○	継続
事務室内の照明は、自然光で必要照度が得られる場合には可能な限り消灯する。	○	継続
トイレや会議室、更衣室等の使用頻度が低い場所の照明は、普段は消灯し必要な場合のみ点灯する。	○	継続
定時退庁日の取組を徹底する。	△	継続
照明機器は、可能な限りLED等の省エネルギー機器へ転換する。	○	継続
ノートパソコンは、離席時や着席時でも長時間使用しない場合はふたを閉じる。1時間以上離席する場合は電源	△	継続
デスクトップパソコンは、スリープモードの開始時間を5分に設定する。1時間以上離席する場合は電源を切る。	△	継続
コピー機及びプリンターは、平日は省エネモードにし、夜間・休日は主電源を切る。	○	継続
冷暖房の設定温度は、冷房28℃、暖房20℃とする。扇風機を併用して効率的な空調管理を行う。	○	継続
18時以降は空調は使用しない。(扇風機は使用可)	○	継続
使用していない部屋の空調は停止する。	○	継続
クールビズ、ウォームビズを実施し、冷暖房の使用を抑制する。	○	継続
エレベーターの使用を控え、階段使用を励行する。	○	継続
テレビ、電気ポット、電子レンジ等の電化製品の使用は必要最低限とする。	○	継続
◎施設における燃料使用量の削減	○	継続
ボイラー機器の定期点検、適正管理を行い、燃料の損失を防ぐとともに、不具合を早期発見し修繕を行う。	○	継続
ボイラー機器等は、可能な限り省エネルギー機器へ転換する。	○	継続
◎車両における燃料使用量の削減	○	継続
車両購入の際は、環境負荷低減に配慮した製品を選定する。	○	継続
公共交通機関の利用、公用車の相乗り等により、公用車の使用削減に努める。	○	継続
アイドリングストップや低燃費運転を励行する。	○	継続
定期的に車両の整備・点検を実施し、燃費を向上させる。	○	継続
◎廃棄物の削減、リサイクルの推進	○	継続
使い捨て製品の使用や購入を抑制する。	○	継続
リターナブルボトルの製品を優先的に使用・購入する。	○	継続
丁寧な使用、修理等を行い、備品・製品の長期使用に努める。	○	継続
分別回収ボックスの設置や掲示物の掲示により、来庁者や施設利用者に対する分別を呼びかける。	○	継続
ミスプリ用紙、古封筒、付箋等、紙製品のリサイクルを徹底する。	○	継続
シュレッターの使用は必要最小限とし、機密を保持した上でリサイクルを行う。	○	継続
両面印刷・両面コピーを徹底する。	○	継続
庁内資料は再利用紙を使用する。	○	継続
グループウェアを活用し、紙使用量を抑制する。	○	継続
資料の簡素化、作成部数の見直しにより、紙使用量を抑制する。	○	継続
コピー、印刷時には、サイズ・色・方向等を確認し、ミスプリントを防ぐ。	○	継続
保存年限を経過した文書は定期的かつ適正に処分し、リサイクルを推進する。	○	継続
廃食油を回収し、ゴミ収集車の燃料(BDF)としてリサイクルする。	○	継続
廃棄物管理票(マニフェスト)に基づき、適正な廃棄物の処分を行う。	○	継続
◎水道使用量の削減と健全な循環形成	○	継続
手洗い、洗い物等、日常の節水に心がける。	○	継続
トイレ内に掲示物を掲示し、来庁者・施設利用者へ節水の協力を呼びかける。	○	継続
バルブを調整し、水量・水圧を適正に保つ。	○	継続
水道使用量の定期点検を実施し、漏水等の不具合を早期発見し修繕を行う。	○	継続
雨水利用設備等を設置し、雨水利用を促進する。	×	未実施
合併処理浄化槽への転換を進め、適正な排水処理を行う。	○	継続
◎事務用品購入における環境配慮	○	継続
エコマーク商品を積極的に購入する。	△	継続
消耗品や備品、建築物の新築・増改築に対し、積極的に木製品を購入・使用する。	○	継続
FSC森林認証紙、ふじのくに森の町内会間伐に寄与する紙を積極的に採用する。	○	継続
◎フロン排出抑制法	○	継続
エアコン、冷凍冷蔵庫の定期点検を実施する。	○	継続

【評価】○:実施(評価)できている △:一部改善の余地あり ×:実施(評価)できていない

2 各課（局・施設）

課(局・施設)名	取組目標	活動計画	取組実績	実績評価、次年度への是正点等
総務課	紙使用量を平成27年度基準値に対し、11%削減する。	総務課のみではなく、紙使用量の削減を全職員に注意喚起し、職員個々に削減に努める。	課長会議等で注意喚起	基準年比79.1%で20.9%の減少となっているが、前年比では112.6%と12.6%の増となっており、その年々の各種要因の影響を受けている状況である。 裏面使用については意識が高くなっている実感はあるが、庁内会議等でのペーパーレス化は残念ながら進んでいないと感じるため、今後はペーパーレス化に対する意識高揚を図っていくことにより紙使用量の削減が進んでいくものとする。
企画課	行政資料(業務説明資料)の作成、更新による事務の合理化と可視化を図り、業務の質を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> 行政資料の見直し・更新 新規事務の行政資料の作成 課内での情報の共有 	作成数:27項目(全27項目中) 作成率:100% 更新数:11項目(27項目中) 更新率:40.7%	繁忙期となる年度末にあつて多くの項目が作成されたことは評価できるが、もっと早い段階で業務の合間を有効に活用して資料の作成・更新がされていれば、さらに有効な取組であったと評価できる。 今後、全庁的な取組に発展させていくことで、業務の可視化、個人と組織のレベルアップ、省エネにつながり、最終的には一層の行政サービスの向上が図られると思う。
情報政策課	平成30年度に作成した業務説明資料の改善及び業務マニュアルの作成により業務の効率化を図る	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度作成した業務説明資料の改善(内容の検討等) 業務マニュアル作成対象事務の選択 業務マニュアルの作成(目標件数:5件) 課内での共有 	<ul style="list-style-type: none"> 作成事務の検討 マニュアル作成件数 6件 	マニュアルの作成は目標件数を達成したものの、運用するところまでは達成できなかった。 次年度は運用まで実施し、内容の改善まで行えるようにしていく。

課(局・施設)名	取組目標	活動計画	取組実績	実績評価、次年度への是正点等
農林課	野生鳥獣による農林作物等への被害軽減を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・野生鳥獣有害捕獲を計画的に実施する ・被害防止対策補助の推進(電柵等設置) 	<p>猟友会への捕獲依頼、許可。 (サル、シカ、イノシシ、小動物)の捕獲実施</p>	<p>計画書を作成することにより、捕獲体制、捕獲頭数等、進捗状況を定期的に確認しながら実施することができた。 結果、野生鳥獣(シカ、イノシシ、サル、小動物等)の多数捕獲ができ、農林産物の被害の軽減を図ることができた。 次年度においても、従来どおり計画的に実施していく。</p>
農林業センター	町民の手本となる圃場管理	防除基準の遵守と適期防除の推進	病害虫防除:6回(6月、7月(2回)、8月、11月、3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて計画通りの防除を行うことができた。 ・作業に当たり、職員で注意点を確認し合い、適正な着衣での作業を心掛けることができた。 ・夏季の作業では、各自適宜休憩を取り、体調に留意して同様の作業を行いたい。
茶茗館	茶茗館環境エコの実践、啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅利用者及びイベント来場者へのアイドリングストップの啓発 ・盛夏に涼に親しむイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップの掲示物を駐車場に掲出 ・緑のカーテン設置 	<p>初夏に取り組んだ緑のカーテンは、青々した実がなり来館者から好評を受け、節電効果とも相まって効果を挙げた。この取組みは来年度も実施して行きたい。なお、29年度設置した電気自動車の充電スタンドの利用台数が月30台となり、環境負荷の低減に寄与出来たと考える。 次年度への取組みとしてLPGのガスレンジを廃止しIHレンジへ、茶保管冷蔵庫を小型のものに更新することで一層の環境負荷の低減に寄与したい。</p>
建設課	リサイクル製品の活用	今年度発注する工事において、積極的に静岡県リサイクル認定製品及びその他リサイクル製品(溶融スラグ入りアスファルト舗装材)を使用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・木製残存型枠による施工 1件(タルノ沢改良工事) ・エコサイクルコンポ(植生基材)による施工 1件(南赤石線改良工事) ・エコサイクルコンポ(植生基材)による施工 1件(林道寸又線改良工事) ・型枠、角杭(県産材)による施工 1件(林道幡住線改良工事) 	工事内容によってはリサイクル製品が活用できない工事もあり、成果が得られないため次年度は取組目標、活動計画の再検討が必要。

課(局・施設)名	取組目標	活動計画	取組実績	実績評価、次年度への是正点等
高齢者福祉課	施設の燃料及び電気使用量の削減	・社会福祉協議会と協議し、電気使用量の削減に努める	・社会福祉協議会との協議 削減方法の検討 実績の検証	(課内)再利用紙の分別、再活用(メモ用紙)するなど、見受けられた。 (施設)取組目標にある燃料及び電気使用量は年間計では少しではあるが減少することが出来た。
健康福祉課	業務説明資料(行政資料)の作成・更新を行い、事務の合理化と効率化を図る	・行政資料の作成 ・課内での情報共有	・行政資料の作成 14件 ・課内に取組目標を周知の継続	・年間を通して、健康福祉課のEA21の取組みを行うことができた。初めての取組みとして『業務説明資料の作成』とし、課内への取組み周知と作成依頼に重点をおいた。初年度ではあったが14件の業務説明資料を作成することができた。 ・作成された資料は課内で共有しており、次年度も継続していく。
桜保育園	・食育活動の充実 ・環境教育の推進	・園児と栽培やクッキング、土壌作りに取り組む ・園から排出するごみの減量	・生ごみを乾燥させ肥料として利用。 ・野菜等の栽培計画とクッキングの年間指導計画を立てた。 ・資源紙を分別、計量しごみ袋の使用量を記録。 ・野菜の栽培をする。(きゅうり・トマト・オクラ・ポップコーン・蓮根・枝豆・南瓜・さつま芋・落花生) ・梅ジュース・杏ジュース・梅干し作り。 ・栽培物の水やり。 ・生ごみ、落ち葉を利用しての土壌作り。	栽培やクッキング、土壌作り、ごみの減量は、子どもと一緒に取り組めるように意識して取り組んだ。土壌作りは、栽培にも関わるので、給食から出る乾燥生ごみや落ち葉を拾って土を混ぜる事を行った。こうするといい土になり、栽培物が育ち、たくさんの野菜の収穫をしてみんなで美味しくいただけた。こうした事を毎年行っているため、子ども達も土がいいと栽培物も育つという事が分かり、土壌作りにも積極的に参加してくれていた。昨年、ごみ袋を年間243枚使用していたので、昨年以上にごみの分別を意識したり(資源紙は別にする)、入れ方を工夫する、まだ入りそうな時には、次回に出すようにする様に心掛けた事で50枚の削減が出来た。これだけ削減できるので、来年度も引き続き意識して取り組みたい。節電については、エアコンを使用する時には、1室に集まるようにして何台も使用しないように工夫したり、暖冬もあり、削減できたと思う。今後も、夏は熱中症対策もしながら、子ども達のためにも、無理のない程度の節電に心掛けたい。

課(局・施設)名	取組目標	活動計画	取組実績	実績評価、次年度への是正点等
三ツ星保育園	食育活動の充実と環境教育の推進に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと共に栽培、クッキング、土壌づくりを行い、食育を推進する。 ・環境に優しい生活を送るために、ごみ分別の必要性を伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥生ごみ・落ち葉を利用した堆肥作り ・資源紙の分別 ・野菜の栽培計画、苗植え、収穫 ・クッキング計画の作成及びクッキングの実施 ・グリーンカーテン作り 	<p>【第1四半期】落ち葉や乾燥生ごみを利用して土壌作りを行った事でジャガイモも多く収穫が出来た。夏野菜も出来始め、グリーンカーテンの栽培にも取り組んだ</p> <p>【第2四半期】夏野菜の栽培) ナス・トマト・パプリカ・ピーマン・枝豆 きゅうり・スイカ・インゲン・かぶ・人参を収穫し使用。グリーンカーテン) りんごそう・アサリナ・フウセンカズラ 落ち葉や乾燥ゴミを畑に入れて秋冬の土壌作りを行う。</p> <p>【第3四半期】秋冬栽培) サツマイモ、大根、人参、ブロッコリー、椎茸、ホウレンソウ、小松菜を収穫し使用。春に向けてパンジーやチューリップの花の苗などを植えた。園庭の落ち葉を園児と一緒に掃き、腐葉土作りに活用した。</p> <p>【第4四半期】小松菜を収穫して給食で使ってもらった。乾燥生ごみを、子どもと畑に行き穴を掘り、埋めた。 年間のゴミ袋使用枚数..... 332枚 年間資源資料.....305.7kg 乾燥生ゴミ排出量.....102.65kg</p>
くらし環境課	業務説明資料(行政資料)の作成・更新を行い、事務の合理化と効率化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・行政資料の作成・更新 ・課内での情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政資料の作成・更新 新規作成:5件 更新:4件 	<p>思ったように活動件数を伸ばすことができなかった。課員への行政資料の必要性の周知が足りなかったと思われる。この取り組みは継続していくことが重要なため、定期的な作成・更新の周知が必要。</p>
税務住民課	資源の再利用及びPC等の電源OFFの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・経費削減とごみの減量のため、可能な限り両面コピーでの印刷や封筒の再利用を徹底する ・PCやプリンターの電源を業務終了時や未使用時に落し、節電を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張、昼休みなどの不在時には、PCの画面を閉じるよう努めた。 ・業務終了後、使わない機器の電源を忘れずに切るよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、節電、時間外業務の縮減に努めることができた。 ・次年度は、2室でそれぞれ具体的な業務改善に関する目標を挙げてもらい、計画、実施に向けた検討を行う。

課(局・施設)名	取組目標	活動計画	取組実績	実績評価、次年度への是正点等
会計課	<ul style="list-style-type: none"> ・電力使用の削減 ・CO2排出量の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日・水曜日・金曜日に定時退庁徹底 ・始業前、昼休みの照明消灯徹底 ・保存用ファイル、紙の再利用 ・体調管理に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ①ノー残業デイ(100%達成) ②始業前昼休みの照明消灯(100%達成) ③ファイル再利用(100%達成) ④体調不良による年休取得なし 	<ul style="list-style-type: none"> ①ノー残業デイについては、定時退庁の意識を持ち一年を通して概ね達成できた。来年度も引き続き、業務の効率化を図り時間管理意識をさらに高めたい。 ②始業前、昼休み照明消灯については課員全員が意識して取り組めたと思われる。 ③毎月、歳入・歳出伝票を綴るため約5冊のファイルを使用している。保存期間を超えた破棄処分するファイルを再利用している。10～12月は再利用ファイルが無くなり出来なかった時期もあったが、1年を通して概ね達成でき資源削減ができた。来年度も続けていきたい。 ④体調不良による年休取得は1月に0.5休があったのみで概ね達成できた。3人のみの課であるため年休が続かないよう来年度も健康に留意したい。
議会事務局	<p>エコアクションの取り組みを行う中、年々高まりつつある議員の資源節約の意識を、さらに継続する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務の合理化と紙資源の節約 ・夏季における省エネルギー、軽装化の実施 ・会議休憩時の消灯の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員の出席した会議資料のファイルによる配架。 ・再利用紙の使用の励行。 ・メール利用率100%(12人)。 ・会議休憩時の消灯。 	<p>平成30年度以降、議員のメール利用率100%を継続している。内容は、緊急または簡易な連絡事項ではあるが、紙資源の節約につながっているため、次年度も同様に行っていきたい。</p> <p>議員の出席した会議資料について、情報を共有するためファイルに綴じて閲覧用としているが、印刷して個人配付するよりも、かなり紙資源の節約につながっている。議員からも「会議ごとに綴ってあり、検索もしやすい」と好評である。次年度以降も継続したい。</p> <p>今年度実施してきた再利用用紙の利用、会議休憩時の消灯、クールビズの励行等、議員自らエコを意識して実践している。継続して行っていきたい。</p>
支所管理局	<p>エコアクションへの取り組みの啓発</p>	<p>紙の使用量、カラーコピーの使用を最小限にし、経費削減に努める。(PCによる内容周知・ミスプリントの削減、再利用に努める)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙資源の使用量の削減を目指し、活動計画に記載した内容を室内で共有し、実行する。 ・毎週月曜日の朝礼を利用し、室内の職員への呼びかけを行う。 	<p>ゴミの減量、紙使用量の減量は、個々の意識によるものであるため、継続的な職員への周知が必要と思われる。職員への周知は、担当局だけでなく他課及び出先機関にも必要である。</p> <p>資源紙回収箱を統一して啓発チラシを貼るなどの工夫も必要と考える。</p>

課(局・施設)名	取組目標	活動計画	取組実績	実績評価、次年度への是正点等
観光商工課	年間エネルギー使用量の削減 (前年度比2%減)	年間を通じた省エネルギー啓発 及び夏季・冬季におけるエネルギー使用見直し	<ul style="list-style-type: none"> 各施設においてエネルギー使用削減の普及啓発 各施設における冷暖房の使用見直し 	<p>年間の使用量は、昨年度と比較して、概ね減少傾向であった。削減への意識が高かったと思われるが灯油及びA重油については、湯温により再加熱時間が変動し、その影響から使用量が増減するため、できる範囲で削減に努める。公用車についてはGWや夏休み期間の利用により増加したので、エコドライブを心掛けるよう呼びかける。</p>
奥大井音戯の郷	音戯の郷施設環境エコ活動	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者への節電啓発活動 グリーンカーテンの設置 	<ul style="list-style-type: none"> 職員への節電・節水啓発 空調機使用時間短縮活動 グリーンカーテン設置 	<p>第1四半期から第三四半期までは、エネルギー使用量に関する細かい取り組みや、空調設備不調による稼働時間の短縮により、エネルギー使用量は、圧縮となりました。これに加え3月の長期休館もあり全体的には各種エネルギー使用量の圧縮となっています。機器の不調や社会情勢によるエネルギー使用量の圧縮は、健全ではないと考えています。</p> <p>令和2年4月以降も施設の休館が続いており、その影響は令和2年度の取り組みにも影響が続くと考えます。本年度は空調機の一部の更新が予定されていますので、機器更新以降の電気、LPG使用料に注目していきたいと考えます。</p>
教育総務課	川根留学生及び川根高校に入学を希望している保護者と生徒に対し、高校の魅力と併せ本町の豊かな地域資源をPRする。	本町の豊かな自然環境や森林資源等の情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 新入寮生を中心に節電・節水への心掛けとゴミの分別化の徹底を話す。 川根高校パソコン部へ本町の自然環境に関する写真と動画を提供 エコパークツアー(川根高校) 川根高校「南麓祭」における展示(パソコン部) 川根高校魅力化PR(東京・名古屋) 寄宿施設入居生徒に、町教委及び業務員から、節水と節電について呼び掛けた。 	<p>川根高校において、町外から生徒募集をする「川根留学制度」の立ち上げから6年が経過した。入学を希望した生徒には、本町の豊かな自然環境に惹かれ、この環境で学習や部活動をしたいたいの志望理由が少なくない。</p> <p>今年度においては、大学間連携事業を中心に「地域を知る」段階でのスタートであったが、次年度は本格的な「高校魅力化」事業を展開していく計画がある。高校で授業として行っている総合的学習である「地生学」「夢ぷろじえくと」の充実を高校と協働で検討し、本町でしか学べない生徒から選ばれる高校を目指したい。</p>

課(局・施設)名	取組目標	活動計画	取組実績	実績評価、次年度への是正点等
学校給食共同調理場	学校給食の残量の減量	給食の残量の削減を目指すとともに残食の適正な処理を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・主食残量:181kg(計画:141kg) ・おかず残量:259kg(計画:277kg) ・食に関する指導の実施 	年間を通じて、おかずは目標を達成することができた。主食が目標を上回った。栄養教諭による、食の大切さを引き続き継続させていく。
社会教育課	環境教育の啓発	地域で取り組む生涯学習事業など「環境保護」をテーマとした学習機会の開催(10回以上)	<p>【地域で取り組む生涯学習事業】 全事業を終了し、実績報告書が提出された団体 27団体</p> <p>【ふるさと発見団】 6月、8月、11月、2月開催 53人参加</p> <p>【海の子山の子交流教室】 5月、8月、10月実施 65人参加</p> <p>【放課後子供教室】 9月～3月 毎週水曜 延べ1790人利用</p>	「地域で取り組む生涯学習事業」や「ふるさと発見団」、「海の子山の子交流教室」でそれぞれ環境学習をメニューに取り入れて事業を実施した。次年度も参加者を増やす計画をたて実施していきたい。
文化会館	<p>①施設利用者数を維持し、電気使用量を前年度より減らす。</p> <p>②町民の環境意識の向上。</p>	<p>①文化会館事業の促進とTPOに合わせた照明・空調利用を心がけ、節電・省エネに努める。</p> <p>②環境教育目的のイベント開催。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電力量デマンド監視システムによる節電の実施 ・環境関係イベント(展示会)の実施 南アルプス写真展 生涯学習講座(山歩き)写真展 夏の川根本町風景写真展 洪水写真展 炭・石ころアート 文化祭作品展 	<p>・H29年度から電力量デマンド監視システムを導入し、最大消費電力量を常に監視し節電を実施している。結果、基本料金が下がりコスト削減に成功していると思われる。会館利用が増えると施設利用頻度が増え、エアコンや照明など使用時間が増加し結果、電気使用量も増加するため利用者と電気使用量は相反する関係にあるが、今後も電力を消費する時間帯をずらして電力需要ピーク時における電力消費を抑える努力を継続したい。</p> <p>・館内で利用しているエアコン等の機器を省エネ機器に更新することで消費量を減らすことができるが、更新するためには多くの予算が必要となる。</p>

課(局・施設)名	取組目標	活動計画	取組実績	実績評価、次年度への是正点等
B&G海洋センター	エネルギーの有効活用による施設利用者への快適な利用環境の提供	施設で使用する電気や水道、灯油などのエネルギー使用の削減を図りながら、施設利用者への快適な利用環境を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・不要照明の消灯や水道、ガスの適正な使用の徹底と利用者への協力の呼び掛け ・プールボイラーの適正な活用 	年間を通して、節約に努めた。一部昨年度よりも増加しているものもあるが、事業数の増によるものである。灯油や水道量についてはプール運営時の天候に大きく左右されるものであるが、今後も引き続き節約に努めていく。

3 小中学校

校名	件名	活動内容	活動の成果・今後の展望
本川根小学校	<p>やまびこ自然教室での「アマゴの放流」</p> <p>地域清掃活動</p>	<p>○学区を流れる大井川に親しみをもたせるとともに、川の環境保全や命の大切さを学ぶ。</p> <p>1 大井川漁協本川根支部の方の話（大井川について、アマゴについて）</p> <p>2 アマゴの観察、放流</p> <p>地域清掃活動を行うことを通して、奉仕の心を育むとともに、地域への感謝の気持ちを表すことを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○落ち葉拾い ○ごみ拾い ○草取り 	<p>・アマゴの放流活動は、今年で4年目になる。今年度も昨年度に引き続き、八木キャンプ場周辺で、放流を行った。漁協組合の方から、大井川やアマゴについての話を聞いた後、アマゴの稚魚を放流した。大井川に放たれたアマゴを温かな目で見つめる児童の姿が多く見られた。</p> <p>・児童は稚魚の放流を通して、地域の自然のよさ、生き物の命の大切さを実感することができた。</p> <p>・11月、3年生は、アマゴの卵を受精させて有精卵にする様子を見学させていただく。そして、来年アマゴの放流を体験することで生物の成長の過程を目の当たりにし、命の大切さを実感させたい。</p> <p>最上級生である6年生は、事前に通学路の様子を思い出し、清掃する場所や清掃方法などを検討した。6年生を中心に上級生は、進んで下級生に指示を出し、清掃活動に一生懸命取り組んだ。下級生も上級生の姿をまねるように、進んで落ち葉拾いやゴミ拾いに取り組んだ。千頭地区を清掃した子供たちは、「落ち葉がたくさんあってびっくりした」「思ったよりもごみがたくさん落ちている」とつぶやきながら、時間いっぱい取り組んだ。</p> <p>地域清掃活動は、ふるさと「川根本町」への感謝の気持ちを表す方法の一つであることを意識させ、取り組ませている。また、自然に囲まれた川根本町で生活していても、子供たちの環境に対する興味はあまりない。このような活動を通して、身の回りの環境に気付く目を養いつつ、きれいな町を守るために進んで行動できる子を育てていきたい。</p>

校名	件名	活動内容	活動の成果・今後の展望
中川根第一小学校	<p data-bbox="392 215 768 272">天然エアコン緑のカーテンで快適に過ごそう</p> <p data-bbox="392 608 651 633">学校を彩る花を植えよう</p>	<p data-bbox="786 215 1346 327">1.2年生が育てるアサガオと4年生が育てるゴーヤの種を職員室南側の花壇にまき、毎年恒例の緑のカーテンを設置し、各学年で協力して植物の世話をを行った。</p> <p data-bbox="786 359 884 384">活動内容</p> <p data-bbox="786 416 1202 467">(1) アサガオ・ゴーヤの種まき、網張り (2) 朝、帰りの水やり</p> <p data-bbox="786 608 1346 691">卒業生への感謝の気持ちを込めて、チューリップの球根を植えたり、パンジーの苗などをプランターに植えたりする活動を行った。</p> <p data-bbox="786 722 1346 774">(1) チューリップの球根植え、パンジーなどの苗植え (2) 朝昼の水やり、花の世話</p>	<p data-bbox="1359 215 2134 327">毎日水やりを自分たちで行うことで、植物の成長を実感するとともに、植物に対して愛着が湧いてきている児童の姿が見受けられた。1.2年生は、生活科の授業で植木鉢に植えたアサガオの成長にさらに興味・関心を抱いていた。</p> <p data-bbox="1359 327 2134 410">4年生の理科の授業においては、緑のカーテンがあることで日陰ができて涼しそうだと感じている児童が、実際にゴーヤを育てて緑のカーテンを作り、涼しさを実感していた。</p> <p data-bbox="1359 608 2134 719">3月の卒業式、4月の入学式に向けて、プランターや学校の花壇にチューリップの球根やパンジーの苗を植える活動を行った。子どもたちは式を彩る花と言うこともあって、意欲的に活動し、上級生が下級生に教えながら、和気藹々と活動する姿が見られた。</p> <p data-bbox="1359 719 2134 802">また、その後も花をきれいに保つために花の水やりを行ったり、枯れてしまった花を摘んだりする活動を行った。子どもたちも卒業生への感謝を伝える場だと思い、丁寧に花のお世話をすることが出来た。</p> <p data-bbox="1359 802 2134 853">これからも植物の世話をすることを通して、友達への思いやりや生き物への優しさを培っていきたい。</p>

校名	件名	活動内容	活動の成果・今後の展望
中央小学校	<p>宿泊体験活動</p> <p>パンジーの苗の受け取り、植え付け</p>	<p>〈ねらい〉 ・なかよし班での活動を通じて、うまくいかないことを班のみんなで相談して解決したり、お互いの良さや頑張りをみつけ、認め合うことができる。</p> <p>〈活動内容〉 (1) 始めの会 (2) 地名地区でのウォークラリー (3) ミツ星キャンプ場でのテント設営、飯盒炊飯、カレー作り (4) ミツ星キャンプ場でのネイチャーゲーム(ストーンペイント、石器作り) (5) テントの片づけ (6) ふり返り、終わりの会</p> <p>ライオンズクラブから、草花の苗や球根を学校に提供したいと連絡がはいった。そこでパンジーの苗をいただくことにした。ライオンズクラブの方に学校に来ていただき、パンジーの苗の引き渡し式を行った。緑の少年団の団長である6年生と、副団長の5年生の児童が頑張ることを発表した後、ライオンズクラブの方からばじーの苗が入ったトレイを渡してもらった。 その後、全校児童と学校職員で、パンジーの苗を2本ずつプランターに植え替えた。苗は140本もあったが、子どもたちは手際よく作業を進め、昼休みの時間内に植え替えを終えることができた。</p>	<p>ウォークラリーやミツ星キャンプ場での活動を通して、子どもたちは川根本町の自然の豊かさを感じ取ることができた。地名地区への移動は、大井川鐵道を利用し、地域理解を深めることもできた。また、飯盒炊飯やカレー作りでは、火を起こしたり、火力を調節したりすることの大変さから、自分の生活を振り返り、水道やガス、電気のありがたさや便利さを体感することができた。そして、協力して料理をすることの楽しさも体験することができた。</p> <p>今年度は、計画立案から準備、当日の活動を、子どもたちによる実行委員に任せ、教師は子どもの様子を見守るスタンスで対応した。その結果「次は〇〇だからこっちに集まって」など、子どもが自主的に活動する姿が多く見られた。来年度も、活動内容を工夫しながら自然に触れ、子どもの自主性を育む良い機会として、宿泊体験活動を継続していきたい。</p> <p>パンジーを植えたプランターに水をかけたり肥料を挙げたりするなど、多くの子供が花のお世話に進んで取り組んだ。また、きれいに咲いたパンジーの花を楽しむ子供の姿も見られた。 今後もお世話を続けて、学校の美化に活用するとともに、入学式などの行事にも活かしていきたい。</p>

校名	件名	活動内容	活動の成果・今後の展望
中川根南部小学校	<p>緑の少年団活動 「緑のカーテンで夏を涼しく過ごそう」「花いっぱい为学校にしよう」</p>	<p>○緑のカーテン(アサガオ、ゴーヤ)を育てる活動を通じて、植物によって人間の生活が豊かになったり、過ごしやすくなったりすることを実感する</p> <p>○様々な植物を育てる活動を通じて、自分たちの学校をより美しくしようとしたり自分にできることをしようとしたりする態度を養う</p> <p>(1)緑のカーテン用のアサガオ、ゴーヤの苗植え、水かけなどの世話</p> <p>(2)花壇等の草取りや種まき、苗植え、水かけなどの世話</p> <p>「麦を育てよう」</p> <p>○地域の行事「流したい」で使用する麦を自分たちで育て、地域の行事に役立ててもらおう</p> <p>(1)11月 麦蒔き</p> <p>(2)麦踏み</p> <p>「花いっぱい为学校にしよう」</p> <p>(1)11月 チューリップの球根植え(4.5年 緑の少年団)</p> <p>(2)2月 パンジーの花苗植え(全校)</p>	<p>緑の少年団活動では、自分たちが植えた花壇の花の水かけを毎日進んで行う姿が見られた。理科の学習と合わせて、アサガオやゴーヤの生長も観察や実験をし、花の様子や実のなり方をする事ができた。大きな蛾の幼虫に葉を食われてしまったときは「こっちは食べられてる」と残念がり、アサガオの生長を願う様子が見られた。</p> <p>今年は花壇に植えたこともあり、ゴーヤやキュウリなどの野菜も一緒に育てることが出来、ぐんぐん伸びていく様子や、次々に実った身を喜んでいた。また、植物の種を蒔き育てることで芽が出た喜びや花が咲いた喜びを感じる事が出来た。自分たちの学校生活の中でのこの少年団活動の意味や緑や花のあふれる生活の豊かさを実感するきっかけとなった。</p> <p>麦を育てる活動は今年で3年目となる。子どもたちも、小さな籾種がやがて芽を出し、来年の夏にきれいな麦穂をなびかせるのを楽しみにしている。地域の方から昔は家族みんなで麦踏みをしたことなどを聞いたり、実際に麦踏みをしたりすることで、麦の強さを知ることもできた。</p> <p>また、チューリップの球根は、ライオンズクラブの方から球根の並べ方や藁をかぶせることなどを教えていただきながら、1個1個ていねいに植えることが出来た。暖かくなり、顔を出した芽をみつけて喜ぶ姿が見られた。自分たちの学校生活の中での少年団活動の意味や緑や花のあふれる生活の豊かさを実感するきっかけとなった。これらの植物が更に育ち、たくさん花を咲かせることを楽しみにしている。</p> <p>また来年度も引き続き子どもたちが自分たちの学校生活を明るく豊かにするために、身の回りの環境に目を向け関わっていきけるよう、場を工夫していきたい。</p>

校名	件名	活動内容	活動の成果・今後の展望
本川根中学校	<p>川根本町をよりよい町にしよう！</p> <p>よりよい本川根中を目指して ～ 環境・福祉・総合的な学習の面から～</p>	<p>自然体験活動や町内の施設の訪問、川根本町の自然や福祉の現状を知り、よりよい町にするためにはどうしたらよいか、学ぶことを目的とする。</p> <p>(1)自然体験活動 ①川根本町まるごと体験(地域めぐり及び自然体験活動) ②カヌー教室 (2)環境保全 ①資源回収、PTA奉仕作業 ②球根の植栽(環境委員会) (3)福祉活動 福祉施設訪問(あかいしの郷) (4)「総合的な学習の時間」校外調査学習</p> <p>清掃活動や資源回収、募金活動、校外調査学習などを通じて、環境・福祉教育の大切さを学び、川根本町や町外の自然や文化について知ることを目的とする。</p> <p>(1)環境保全・環境教育 ①資源回収 ②球根の植栽(環境委員会) ③全校清掃及びワックスがけ (2)福祉教育 赤い羽根募金の回収(生徒会本部) (3)「総合的な学習の時間」校外調査学習</p>	<p>川根本町の自然や福祉の現状を知る活動として、総合的な学習の時間を活用したり、まるごと体験や福祉体験、カヌー教室等を行ったりした。</p> <p>まるごと体験では、鳥獣被害に関する講話を聞いてその現状を知ったり、町内にある工場を訪問して見学をしたりする活動を体験できた。福祉体験では、あかいしの郷を訪問して福祉に関する話を聞き、入居者と話をしたり介護の手伝いをしたりした。参加生徒全員が「福祉体験を通して、福祉の大切さを理解することができた」と感じている。また、環境保全活動の一環として毎年行っている資源回収・奉仕作業を行い、生徒が一生懸命古紙や雑誌等を回収したり、草取を行ったりしていた。</p> <p>生徒が学んだり体験したりした環境活動や福祉の大切さ等についてさらに深く考えさせ、川根本町をよりよい町にしていけるためにどのようなことができるのかという手立てを検討していきたいと考えている。</p> <p>本校生徒が環境・福祉・町内や町外の自然・文化等について学ぶことができるように、上記の活動を行った。</p> <p>球根の植栽や全校清掃及びワックスがけを、環境委員会が中心となり全校生徒に呼びかけて活動を行った。生活しやすい環境を自ら創り出すことの大切さや、仲間と協力して作業する楽しさをお互いに味わうことができた。</p> <p>福祉教育に関して、赤い羽根募金の回収活動を行った。生徒会本部が主体となり、募金の大切さや使い道などを事前に紹介してから回収した。全校生徒が積極的に協力する姿が見られた。結果として、約5000円分の募金を回収することができた。</p> <p>総合的な学習の時間では、生徒一人一人が各自で調査・追究していることをさらに深めるために、町内や町外の事業所や自然スポット等を訪れ、さらに探究する時間となった。</p> <p>生徒が学んだり体験したりして、心情を育むことができる環境・福祉教育や総合的な学習の時間を今後も継続していきたいと考えている。また、来年度に関しては、生徒の実態等を考慮しながら新たな活動ができれば良いと考えている。</p>

校名	件名	活動内容	活動の成果・今後の展望
中川根中学校	<p>あすなろDay</p> <p>「あすなろDay」「エコキャップ集め」</p>	<p>毎週水曜日の朝、福祉委員がアルミ缶と牛乳パックの回収を行った。下半期も継続して活動していく予定である。回収によって得たお金は、生徒会で話し合い、学校生活の中で子供にとって役立つ物品を購入していただく予定である。</p> <p>・「あすなろDay」では、毎週水曜日に、福祉委員の呼びかけのもとアルミ缶と牛乳パックの回収を行った。回収によって得たお金で、今年度は福祉教育に使用する車いすを2台購入した。また、「エコキャップ集め」では、ペットボトルのキャップを集め、役場に届けた。</p> <p>・難民支援の為に、使用済みの文房具を集め、寄付した。</p> <p>・回収したものがどのようにリサイクルされるかのポスターを福祉委員が作成し、全校に紹介した。</p>	<p>最初は持ってくる量も少なかったが、福祉委員の呼びかけ等の活動で持ってくる生徒も増えた。下半期も継続して行っていくので、引き続き委員会で呼びかけ等を行っていきたい。</p> <p>どの活動も、最初はアルミ缶や牛乳パックやペットボトルキャップを持ってくる生徒が少なかったが、福祉委員の呼びかけや、ポスター作成、放送で周知させるなどの活動で、活動への生徒の参加率が高まるとともに、リサイクルに対する意識も高まった。</p>

Ⅶ その他 令和元年度の活動内容紹介

(1) 緑のカーテン実施・啓発

夏季の暑さ対策と電力使用量の低下を目的として、庁舎に緑のカーテンを設置して 14 年目になります。今年は、朝顔で高さ 5m、幅 10m の緑のカーテンを作りました。また、この緑のカーテン普及促進のため、設置希望のあった地区と学校に土やプランター、ネット、種の配付も行いました。



また、中部電力から提供された朝顔の種 95 袋を、役場窓口などで町民の方へ配布しました。

(2) 川根本町の自然について学ぶ（ふるさと発見団、海の子・山の子交流教室）

川根本町の自然を知るための取り組みとして、ふるさと発見団では寸又峡にてハイキングを行いました。

歩きながら歴史や地理、植物や野生動物の話を行いました。その地域に住む人と、自然とのかかわり方を学ぶことができました。

海の子・山の子交流教室では木こり体験を行いました。実際に山に入り、木を切り倒す手順や、間伐の理由などを学ぶことができました。また、木工工作も行い、木の硬さや柔らかさ、匂いを感じとり、自然と直に触れ合うことができました。

実際に自然に触れることで、自分たちがどのような環境の中で育っているのか、どんな関係をもって自然と生きているのかについて、学ぶことができました。町の自然について知るよい機会になりました。



(3) 地域緑化支援事業の実施

9月と11月に町内の花の会を対象として、地域緑化を促進するため球根や種などの資材を配布しました。

町内で活動している花の会より配付希望を受け、秋植えの球根や種、培養土、肥料などを、計17団体に配付しました。

春には町内各地で色とりどりのきれいな花が咲き、見る人の目を楽しませました。



(4) 大井川を学ぶ視察会

大井川の河川環境と水利用の現状を知ってもらうための視察会を実施しました。

視察会では、大井川を育む源流部の山々と清流の状況、ダムや発電所施設の状況、飲料水・農業用水・工業用水等の補給状況等、大井川が果たす多くの重要な機能について学びました。

視察域	開催日	参加者数
《源流域》 畑薙第一ダム（静岡市） ～塩郷堰堤（川根本町）	令和元年10月25日	9名



(5) 大井川を知る総合学習「大井川出前講座」

子どもたちに大井川の現状とその環境について広く知ってもらうことを目的とした大井川出前講座を、流域の小学校7校で開催しました。

児童たちは、大井川の歴史をたどり、変化する大井川の役割と現状を学びました。

開催校	開催日	対象者数
掛川市立中小学校	令和元年10月 1日	4年生 19人
牧之原市立萩間小学校	令和元年10月 7日	4年生 22人
牧之原市立細江小学校	令和元年10月 8日	4年生 71人
掛川市立曾我小学校	令和元年10月10日	4年生 32人
掛川市立大淵小学校	令和元年10月15日	4年生 34人
掛川市立小笠南小学校	令和元年11月 8日	4年生 20人
島田市立大津小学校	令和元年11月14日	5年生 56人
計	7回	254人



Ⅷ 川根本町が実施する町民向け補助事業

川根本町では、環境負荷の少ないエネルギーの利用、資源有効利用、地球温暖化防止、町民との協働による自然に癒されるふるさとづくりの推進等を目的に、以下の補助金制度を実施しています。

(1) 川根本町クリーンエネルギー機器導入促進事業費補助金

太陽光発電システム等を設置する場合の購入費用及び設置費用を助成します。

【令和元年度の実績】

区 分	件数	補助金交付額
太陽光発電システム	2	400 千円
太陽熱温水器	5	250 千円
エコキュート	9	450 千円
潜熱回収型	2	60 千円
高効率給湯器	0	0 千円
ハイブリッド給湯器	0	0 千円
計	18	1,160 千円

(2) 川根本町^{もり}森林のエネルギー導入促進事業費補助金

薪などの木質燃料のストーブ・給湯ボイラー・風呂釜を設置する場合の購入費用及び設置費用を助成します。

【令和元年度の実績】

区 分	件数	補助金交付額
薪ストーブ	6	250 千円

(3) 川根本町生ごみ減量促進事業費補助金

生ごみ処理機等の購入費用を助成します。

【令和元年度の実績】

区 分	件数	補助金交付額
乾燥式	2	68 千円
容器式		千円
バイオ式		千円
計		千円

(4) 川根本町合併処理浄化槽設置整備事業費補助金

合併処理浄化槽の設置費用を助成します。

【令和元年度の実績】

区 分	件数	補助金交付額
合併処理浄化槽	13	4,563 千円

(5) 川根本町古紙等資源集団回収奨励金

古紙類、ビン類、缶類の回収を行った団体（自治会、小中学校、子供会、PTA 等）に対し、奨励金を交付します。

【令和元年度の実績】

交付件数	参加団体数	回収量	奨励金交付額
28	8	181,299.6 kg	938 千円

(6) 川根本町防犯灯整備事業費補助金

防犯灯整備事業を実施する区自治会に対し、補助金を交付します。

【令和元年度の実績】

区 分	件数	補助金交付額
新設（支柱新設）	3基	661,600 円
新設（電柱共架）	4基	
交換	40基	

(7) 川根本町少量危険物貯蔵施設防油堤整備事業費補助金

少量危険物貯蔵施設防油堤を設置する方に対し、補助金を交付します。

【令和元年度の実績】

区 分	件数	補助金交付額
防油堤整備	0	一千円

政 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

令和元年度において、環境関連法規の遵守状況を確認した結果、法令違反や事故、異常事態の発生は報告されておられません。

また、過去3年間にわたって違反・訴訟もありません。

遵守状況チェック日 令和2年2月28日

○関係法令

法律名	関係業務	関係課	遵守状況
環境基本法	・環境関連施策全般	全庁	○
循環型社会形成推進法	・循環型社会の構築	全庁	○
地球温暖化対策の推進に関する法律	・町施設における温暖化対策 ・住民、事業所への働きかけ	全庁	○
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）	・町施設における物品購入、使用時の環境配慮	総務課 全課	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・廃棄物関連施策の実施 ・事業から排出される廃棄物の処理	全庁	○
資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）	・庁舎におけるごみの分別、再利用等 ・分別収集の啓発	くらし環境課 総務課 他	○
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律（容器包装リサイクル法）	・廃棄物関連施策の実施 ・事業から排出される廃棄物の処理	全庁	○
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	・特定家電製品の廃棄、リサイクル券の購入	総務課 特定家電使用課	○
食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（食品リサイクル法）	・食物残渣等のリサイクル	給食センター	○
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	・公共事業における建設廃棄物の再資源化と再利用の促進 ・地域における資材の再資源化の促進	建設課 関係課	○
使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	・公用車の廃車時における環境配慮 ・購入・更新・車検時のリサイクル券の購入	関係課	○
水質汚濁防止法	・庁舎・施設からの排水の基準遵守	総務課 各施設	○
大気汚染防止法	・ボイラ等のばい煙発生装置の使用 ・ボイラ及び冷温水発生機の使用	海洋センター	○

法律名	関係業務	関係課	遵守状況
騒音規制法	・公共事業における騒音への配慮	建設課 関係課	○
振動規制法	・公共事業における振動への配慮	建設課 関係課	○
悪臭防止法	・地域における悪臭の防止	くらし環境課	○
エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)	・エネルギー使用量の把握 ・省エネの推進	総務課 くらし環境課 全庁	○
浄化槽法	・適正な浄化槽の管理	総務課 関係施設	○
消防法	・石油製品の大量貯蔵	海洋センター	○
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理に関する特別措置法	・PCBの適正な管理及び処理	総務課 教育総務課	○
フロン排出抑制法	・エアコン、冷凍冷蔵庫の定期点検の実施	総務課 関係施設	○

Ⅹ 代表者による評価と見直しの結果

本町でのエコアクションの取り組みも、平成19年度以来13年目となりました。地域をはじめ、地球環境への負荷を極力減らし、持続可能な環境保全を目標として取り組みを続け、職員の中では最早当然の取り組みとして認知されてきております。また、平成30年度には、川根本町景観計画を策定しました。本町は南アルプスユネスコエコパークの緩衝地域として、後世に残すべき素晴らしい景観と、文化的な生活の営みを両立させる地域として位置づけられ、計画では町が目指す景観の姿を「人の営みにより育む、自然と調和した魅力と活力のある景観」としています。

目標の実現には、環境への配慮も益々重要となります。社会経済活動は、少なからず環境に負荷をかけますが、そのことを意識し、小さなことから地道に取り組むことで、地球規模でいえば相当な環境負荷軽減に繋がるはずで、「水と森の番人が創る癒しの里」を町の総合計画に掲げるわが町だからこそ、取り組むべき事項であり、このことこそ、わが町から世界に発信し、大きなムーブメントに繋げる重要な役割を担うものだと思っております。

令和元年度の取り組みについては、様々な要因により目標の達成ができなかったものや、計画どおり実施できなかったものがありますが、これまでもPDCAサイクルに則り、皆で工夫し取り組んできた実績があります。これからも改善されるまで職員一丸となり、英知を結集して目標達成に向け、取り組んでまいり所存です。

本町の取り組みが、日本国内にとどまらず、世界に誇れる姿となるよう、今後も地域の人々の暮らしと産業及び経済を支える、自然を守る番人として、町の財産でもある豊かな自然を守りつつ活かしながら、“自然と共生する豊かなまち 川根本町”を実現するよう、今後もまちづくりを進めてまいります。

令和2年 5月15日

川根本町長 鈴木 敏夫

川根本町役場 エコアクション21

環境活動レポート

川根本町暮らし環境課環境政策室

〒428-0313

静岡県榛原郡川根本町上長尾627

TEL: 0547-56-2236

FAX: 0547-56-1117

E-mail: kurashi-kankyo@town.kawanehon.lg.jp

ホームページ: <http://www.town.kawanehon.shizuoka.jp>